

# ふんね

やまざと

VOL.49

[3月定例議会号]  
平成30年6月1日



## CONTENTS

- 新しい体制・・・P2
- 議案審議・・・p4
- 一般質問・・・P7
- 生の声を聴く・・・P14
- あなたが考える、  
南関町の未来・・・P16

新コーナー『生の声を聴く』のインタビュー会場「子育て支援センター」に当日参加されていた子育てママさん達。

■子育て支援センター：地域の子育ての拠点となる施設で、安心して子育てができるようお手伝いするところです。子育てについてのご相談、楽しいイベントや子育て講座などもあります。無料で利用できます。

開所日：月曜日～金曜日、午前10時～午後4時まで

※土曜日は施設を自由開放します。

場 所：南関こどもの丘保育園内

# なんかんのギカイ

南関町議会の内容を分かりやすくお伝えします。

# 3月5日臨時議会で決定しました。



議長

酒見 喬

## 若者が残れる町づくりを目指して

二月の選挙から早いものでまる二カ月が経ち、若葉もまぶしく、降り注ぐ陽の光もときには真夏を思わせるような季節となりました。議会におきましても新しい顔ぶれも含め、変革激しい時代の中で十七期の議会運営がスタート致しております。私達は時の流れとその考え方をいち早く受け止め、町の進展に努めて行かなければなりません。今期は前期から引き継いだ事案を実現させ町民の皆様の期待に応え行動して行きたいと思っております。

南関高校の跡地と建物を利用した庁舎の建設、加工品開発センターによる特産品の開発を進め低迷する農業所得に繋げればと思います。南関町に進出されている企業の業績も順調で増資も続けられており、今後半導体や自動車関連を含め明るい見通しです。そのようなことで南関町に生まれ育った若者に働く場を提供し、この町に残り将来を担う人材の確保で人口減少に歯止めをかけなければなりません。

この十七期も明るい町の建設と将来に備えた町づくりに議会一丸となり頑張って行きますのでどうぞよろしくお願い致します。



町長

佐藤 安彦

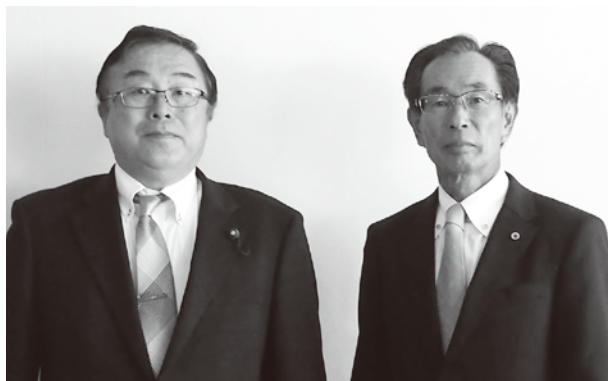
## 二期目のご挨拶

### もっと大好きで住みたい町の実現に向けて

2月20日告示の町長選挙におきまして、多くの皆様のご支援により2回目の再選を果たさせていただき、改めて気を引き締めて町政を担う覚悟をいたしました。1期目で取り組んできた15の政策を土台とし、2期目ではあらゆる難関を突破するための18の政策を中心に町民の皆様のご意見を町政に反映し、更に開かれた町政運営に取り組みたいと考えております。

本年3月には、加工品開発センターが竣工したほか、南関高校跡地への新庁舎等移転に伴う基本設計が完成しました。今後は新庁舎を中心とした南関版コンパクトシティー構想の実現に向け具体的な計画を策定していくこととしております。

このほかにも災害に負けないまちづくり、子ども、高齢者、障害を持つ人も安心して暮らせる環境の整備、圃場整備の推進と集落営農組織の設立支援など、「もっと大好きで住みたい町」の実現に向け、全力でまちづくりに取り組む所存でありますので、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



有明広域行政事務組合議員  
立山 秀喜 杉村 博明



監査委員  
打越 潤一



副議長  
境田 敏高



## 文教厚生常任委員会



教育課・福祉課・税務住民課を所管に属する事項を受け持ちます。

## 総務産業常任委員会



総務課・建設課・経済課・まちづくり課を所管に属する事項を受け持ちます。



議会の委員会には、常に設置されている 常任委員会、議会運営委員会 と必要に応じて設置される 特別委員会があります。総務産業と文教厚生は各課の所管に属する事項の調査や議案の審議、陳情、請願に対する審査を行います。広報常任委員会は議会活動を町民に広くお伝えします。

## 議会運営委員会



議会を円滑かつ効率的に運営していくための組織です。

## 広報常任委員会



議会での広報を担当します。皆さんに親しみやすく読んで頂ける内容にしていきます。

# ● 3月定例議会 議案審議 ●

こんなことが決まりました。

3月定例議会の議案は

町長提出議案 . . . . . 30件

議員提出議案 . . . . . 5件

今号では、この中から7つを説明します。

1

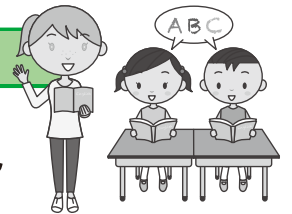
平成30年度南関町一般会計予算 **56億8,356万3千円**は、質疑・討論の結果、賛成多数で可決しました。

〈第20号議案 平成30年度南関町一般会計予算について〉

※今回の予算編成は、2月に町長・町議選が行われましたので、最低限必要な経費で編成されている「骨格予算」です。今後、町の事業など政策的な経費は「補正予算」で肉づけされていきます。

## 質疑 アメリカから派遣の英語教師 ALT を、地元の日本人へ変更

- 外国人から、日本人に変わることは生徒にとって良いのか？疑問である。(杉村)
- ALT 制度には疑問を持っているが、変更之际し事前に常任委員会へ提案・合意していないのは問題である。(中村)
- 通訳をされていた方というが、通訳は大人対大人であり、子供にとって優秀なのか未知数である。(鶴地)
- これ以外にも常任委員会を飛び越して進むことがあった。周知徹底すべき。(立山(秀))
- 執行部内で答弁内容に差がある。関係先とよく練ってから提案して欲しい。(橋永)



## 質疑 大河ドラマ「いだてん」地域振興協議会への負担金 221万7,000円

- 南関町にロケ撮影が無くても、大河ドラマの時間帯最後に、ゆかりの地紹介コーナーがあるので、南関町が紹介されるように取り組んでいく努力をすべき。(立山(秀))
  - 協議会だけでなく、町独自の盛上げ策があってもいいのに予算化されていない。(中村)
- ※広域連携プロジェクト補助金があるので、町の実質負担金は50万1,000円の見込み。



## 質疑 昨年同様にイートランを実施する件

- 昨年の結果と補助金658万9,000円の内訳が見えない。また開催日が農繁期と重なり町内の参加が少なくなる、考慮が必要。(立山(秀))
- ※町の実質負担金は197万7,000円。
- イートランの主催はどこ？実行委員会のあり方を検討して欲しい。(井下)
  - 祭りイベントに対して費用対効果を考えて欲しい。補助金ができるから実施するのでなく、町民との思いにズレがある。(杉村)
  - 昨年のようにコメディアンへ出演料を払うような企画でいいのか。(橋永)
  - このイベントの目的がはっきりしていない。町民の憩いの場にしたいなら、多くの人たちが参加できる日程にすべき。(西田)



## 討議

### 反対討論

教育費の予算計上に事前打ち合わせ不足  
アメリカ派遣の英語教師 ALT を地元日本人に  
変更の件、昨年同様にイートラン実施の件は、  
打合せ不足で予算計上に反対する。(立山(秀))

### 賛成討論



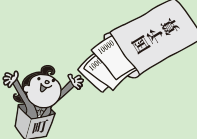


事前打ち合わせ不足はあるが、今後改善努力  
を。予算計上は賛成。(鶴地)

**可決**  
賛成 8  
反対 3

**賛成：8** 境田・鶴地・打越・井下・杉村・立山(比)・北原・西田議員  
**反対：3** 橋永・立山(秀)・中村議員

# 歳入

・・・一般家庭での収入額および内訳になります。多い順に並べてみました。



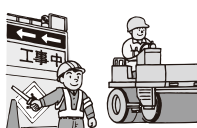


<b>地方交付税</b> <b>18億円</b>	<b>31.7%</b> 
<b>町税</b> (町民税) (町たばこ税) (固定資産税) (軽自動車税) (入湯税) <b>11億5,752万円</b>	<b>20.4%</b> 
<b>国庫支出金</b> (国庫負担金) (国庫補助金) (国庫委託金) <b>6億9,869万円</b>	<b>12.3%</b> 
<b>町債〈借金〉</b> <b>6億9,390万円</b>	<b>12.2%</b> 
<b>県支出金</b> (県負担金) (県補助金) (県委託金) <b>4億7,441万円</b>	<b>8.3%</b> 

ベスト5(上位5つ)で、  
全体の**84.9%**






繰入金	1億9,063万円
地方消費税交付金	1億8,000万円
寄付金・諸収入	1億3,463万円
使用料及び手数料	1億1,660万円
繰越金	1億円
分担金及び負担金	5,615万円
地方譲与税(地方揮発油譲与税) (自動車重量譲与税)	5,600万円
ゴルフ場利用税交付金	950万円
自動車所得税交付金	850万円
地方特例交付金	230万円
財産収入	142万円
交通安全対策特別交付金	129万円
配当割交付金	100万円
利子割交付金	80万円
株式等譲渡所得割交付金	20万円

# 歳出

・・・一般家庭での「使い道」額および内訳になります。多い順に並べてみました。

<b>民生費</b> (社会福祉費) (児童福祉費) <b>17億3,617万円</b>	<b>30.5%</b> 
<b>総務費</b> (総務管理費) (選挙費) (徴税費) (戸籍住民基本台帳費) (統計調査費) (監査委員費) <b>9億3,661万円</b>	<b>16.5%</b> 
<b>土木費</b> (土木管理費) (河川費) (道路橋梁費) (住宅費) (道路新設改良費) その他特別会計繰出 <b>8億2,346万円</b>	<b>14.5%</b> 
<b>公債費〈借金返済〉</b> <b>6億6,135万円</b>	<b>12.2%</b> 
<b>衛生費</b> (保険衛生費) (清掃費) (水道費) <b>4億7,586万円</b>	<b>8.4%</b> 

ベスト5(上位5つ)で、  
全体の**81.5%**

<b>教育費</b> (教育総務費) (小学校費) (中学校費) (社会教育費) (保健体育費) <b>3億8,508万円</b>	
<b>農林水産業費</b> (農業費) (林業費) <b>2億6,144万円</b>	
<b>消防費</b> <b>2億55万円</b>	
<b>商工費</b> <b>1億942万円</b>	
<b>議会費</b> <b>8,525万円</b>	



## 特別会計予算 合計 33 億 1,632 万円

国民健康保険・・・14億4,111万円  
 公共下水道事業・・・1億7,543万円  
 簡易水道事業・・・・・・・・483万円  
 介護保険事業・・・14億3,781万円

浄化槽整備推進事業・・・1億1,205万円  
 後期高齢者医療・・・・・・1億3,348万円  
 宅地分譲事業・・・・・・・・1,161万円

**2** 平成29年度南関町一般会計補正予算(第6号)は、質疑・討議の結果、賛成多数で可決しました。

〈第12号議案 平成29年度南関町一般会計補正予算(第6号)について〉  
**一般会計補正予算(第6号)は、61億9,409万1,000円**

**質疑** まちづくり推進費での大河ドラマ「いだてん」1市2町地域振興協議会での負担金40万円

■ロケ地に南関町が入らなかったのに、この協議会のPR活動やロゴ作成などの中で南関町にメリットはあるのか。(杉村)



### 討議

#### 反対討論

**負担金の効果が分からない予算計上**  
 大河ドラマ「いだてん」1市2町地域振興協議会での負担金40万円で、町への集客効果はないと考える。予算計上に反対する。(杉村)

#### 賛成討論

**スポーツ振興にも役立つ予算計上**  
 観光客効果だけでなく、スポーツ振興、マラソン・陸上などの起爆剤にもなり、期待度が大きい。予算計上に賛成。(鶴地)



**賛成：10** 境田・橋永・鶴地・打越・立山(秀)・井下・立山(比)・中村・北原・西田議員  
**反対：1** 杉村議員

**3** 現教育長の任期満了により、谷口 慶志郎氏が教育長に、松本 隆明氏が教育委員に任命されました。



**4** H30年度から国保の財政運営が県に移行し市町村との共同運営となる。今後、市町村は標準保険料率を参考に保険料(率)を決定し賦課・徴収を行います。



**5** 3年ごとの見直し時で、第7期の介護保険料が改正されます。



**6** 国の人事委員勧告にならい職員の給与表が改正されました。



**7** 熊本地震による災害からの早期の復興を図るための基金条例が設定されました。



# 一般質問

みなさんの生活にかかわる大切な内容について質問しました。

- ・一般質問の記事：質問した議員が1500文字以内に要約して執筆したものです。原文を尊重して掲載しています。
- ・発言が「～である」調に記載されていますが、質問・答弁共に丁寧語で発言されています。
- ・「会議録」は南関町図書館および町ホームページで閲覧できます。3月議会分は6月に公開予定。

## 杉村「高齢者世帯・一人親世帯の安心安全への支援等は十分か」 町長「社会環境・生活環境は変わっていくので、十分ということはないと思う」



総務産業常任委員  
有明広域行政事務組合議員

### 杉村博明

**Q** 今回3つの質問を行う。

まず、高齢者世帯・一人親世帯の安心安全への支援について、南関町では高齢者世帯が目立ち、また一人親世帯も多く見られ、安心で安全な生活を暮らせるうえで、町の支援として、どのような支援を行い、支援等について町長は十分と考えているのかを問う。

**A** (町長) 現在、町の高齢化率は37%を超え、一人暮らしの高齢者や高齢者の方のみの世帯も増えてきており、一人親世帯もあり、そういう方々も安心・安全に暮らせる、町づくりの中心的な施策の一つとして取り組んでいるところである。

高齢者の支援として、住んでよかったプロジェクト推進事業にある、交通手段の確保のためのタクシー料金助成事業、乗合タクシー事業や買い物宅配サービス事業などがあり、安心につながるものとしては、町内の協力事業者と協定を締結しての一人暮らし高齢者見守りネットワーク事業や緊急通報装置の設置事業等がある。

一人親世帯に対しては、学用品、修学旅行費の援助をする修学援助費制度や一人親医療費助成事業等などがある。しかしながら、社会環境・生活環境が変わっていき、支援等については今後も町の実情に合わせ検討していかなければならないと考えている。

**Q** 2点目は乗合タクシーの現状と課題について、南関町では現在、乗合タクシーが運行されているが、現状と課題が見えてきたところであり、町としてどのように捉えているか、また町民の思いが反映されてきたか

**A** (町長) 平成27年10月から平成29年3月まで試験運行期間として運行し、平成29年12月末で西鉄南関庄山線の廃止を行い対策として、乗合タクシーの運行の改善を図り、平成30年1月より新たに運行形態へと移行し、利用料金は運行当初から片道300円の料金設定をしている。根拠としては路線バスの町内区間の利用料金の平均やタクシー初乗り運賃より安い料金設定となっている。バス停まで移動することなくドア to ドアで乗降でき、利用者の利便性は向上していると思われる。適正な利用料金であると考えている。

ただ、現在の運行形態がベストだとは考えていない。

**Q** 3点目は防犯灯設置の現状についてであるが、防犯灯設置状況を見ると、まだまだ十分と思えない。設置にあたり町としてはどの様な設置に関する条件等があるのか、状況をどのように思っているのかを伺う。

**A** (町長) 現在、町全体で180基を設置している。地域の防犯灯の設置については、行政区に対して防犯灯補助金の制度と電灯料交付金の制度があり、各行政区での設置及び維持管理をさせていただいている。町では今年2月7日の全体区長会の際に各区長に説明し、設置場所及び防犯灯の種類についての調査を行い、今後の対応方法などについて検討する。

**まとめ** 乗合タクシー利用料金は往復600円となる。低所得者、年金生活されている方からすれば、往復500円のワンコインぐらいまで下げて利用者増を図っては如何か。

また、南関町では防犯灯が少なく、夜道では危険な場所が多くあり、空家も増え危険な状態が増えつつあるため、防犯灯を増やして、安心安全な南関町を口先だけでなく現実なものにして頂きたい。

町長自ら歩いてみて夜間パトロール等して、実態調査してみても如何か。



細永付近

打越「県道大牟田植木線、玉名八女線の交通安全施設の進捗状況について」「集落営農を進めるため、水田暗渠対策の課題はどうクリアすべきか。」



総務産業常任副委員長  
監査委員

打越潤一

**Q** 県道大牟田植木線、玉名八女線の交通安全施設の進捗状況について。

**A (町長)** 県道大牟田植木線については、町道米田鬼王線との交差点部で整備した続きから、米田大場線の入口付近まで約140メートルを今年度発注する予定。玉名八女線については、今年度まで用地の確定作業が終わり、来年度より用地買収に入る予定。

集落営農については、現在、米田地区が組織設立に向けて話し合いをされており、新たに圃場整備に取り組む南関地区や賢木、四ツ原地区においても集落営農を設立する動きや、担い手に農地を集積する動きも出てきている。このような中、かなり以前に圃場整備した水田においては、水はけが悪くなってきている箇所も見られることから、現在、町においては水田の暗渠排水事業に補助を行っている。また、圃場整備済みの水田においては、条件によっては国の補助もあるので、有効に活用いただき、より良い条件で耕作していただければと思う。

**Q** 今年度は骨格予算で6月に肉付けするという事なので、今この予算を見た状況では分からないが。

**A (建設課長)** 北の辺田橋の歩道の工事については、歩道橋の上部工、これを発注し、橋からからあげ亭に向かって24メートル、それから反対側のほうに向かって131メートルを、発注予定と聞いている。今年度中に発注し、契約を行った後に工事は30年度に繰り越すような形で行われる。米田大場線は、30年度に橋の下部工の工事をまず行いたい。その後、上部工を行って、道路の改良を行うという計画である。

**Q** ゴルフ場の入口付近が、南関のほうから玉名方面に行くとき、玉名方面から来るのにもカーブで、ちょうど出くわすと本当危険なところだと思う。県のほうに、県の用地だから泥を除けていただきたく、町長、よろしくお願ひしたい。

**A (町長)** 町としても要望はしているところだが、県の用地ということで、町が工事をすることにはもちろんならないし、県としては何らかの思惑があると思う。

**Q** 水田暗渠等で国・県の補助があるようだが。

**A (経済課長)** 国の補助として、農業基盤整備事業というのが。これについては、圃場整備してあ

るところで、水田暗渠、畦畔の除去、俗に言う畦倒しだが、そういうものもある。定額補助で、バックホーでは反当15万円、トレンチャーとか種類によって7万5,000円から15万円という助成がある。

**Q** 米田の基盤整備があって、30年ぐらい経っており、排水が効いてなくて、大型機械が使えないと、面的には表面から見た感じは何もないような感じのところだけど、一応種子はまかれているようだが、今後、集落営農をしていく上で、一番ネックになりはしないだろうかと思うので、良い方法はないものか。

**A (経済課長)** 大麦若葉については、米田地区以外でも会社のほうでされているみたいで、今、芽が出てきているけど、結構、大型機械でかなり下まで掘削してにおいて、何か水が溜まる場所があるということで、ああいう作物についてはなるだけ乾燥しとった方がいいが、なかなか排水が思うようにできない箇所もあるかと思う。国の事業についても、いろいろ事細かく条件等があるので、米田地区に活用できるかどうか、また検討してみたいと思う。

**まとめ** 健康で安心・安全な地域づくり、生活環境を推進していかなければ、地域は廃れていくと思う。地域ごとに住む人がみんなで考える場で意見を述べ合い、目標を設定し、それをみんなで推進していく、それには行政の手助けが必要と思う。



県道大牟田・植木線、北の辺田橋付近